

# 法務の眼 Legal Eyesight

## 全国各地で開催された「地域会員懇談会」に参加しました！

LINE ヤフー株式会社 決済金融法務部

伊藤 淳 (Atsushi Ito)

### 1 地域会員懇談会を振り返る

経営法友会では、会員各社の法務パーソンが集まって、意見交換や情報交換を通じて交流や親睦を図る「会員懇談会」を開催しています。コロナ禍ではオンラインのみで開催していた時期もあったものの、2024年度は会場開催を基本としつつ、オンラインも活用したハイブリッドの会員懇談会も開催しました。

「地域会員懇談会」とは、首都圏以外の会員を対象としたサービスを検討する経営法友会の大阪部会が、地域会員交流プロジェクトに基づき、全国各地で開催する会員懇談会です。

私は2024年度の地域会員懇談会のほぼすべてに参加しましたので、本稿はその振り返りをとするものです。

2024年度、経営法友会が地域会員懇談会を開催したのは、東海（名古屋開催）、北海道（札幌開催）、京都、神戸、九州（都城および福岡で開催）、広島のみ6か所であり、九州地区は年に2回開催しましたので、全部で7回でした。すべて会場開催でした。このうち、都城で開催された会を除いた6回の地域会員懇談会に参加して、全国の法務パーソンのみなさまの声を聞きました。

各地の地域会員懇談会に参加してみて思ったのは、やはり「人と会って話すことってすばら

しいな！」ということです。2020年からのコロナ禍では人と会えなくなりましたし、また、法務という職種から、どうしても契約審査などの社内での業務が多く、やはり外に出て人に会うというのは、仕事をしていく上でとても重要なことであると再認識しました。

また、地域会員懇談会に参加するためには、飛行機や新幹線などによる移動時間が必要なのですが、現在では、空港や駅にはテレワーク用のブースがあり、直前までブースで通常業務をこなした後に懇談会に参加できますので、

全国各地の街をブラブラする時間が少なくなってしまふのは寂しいところですが、東京から移動しての参加も非常に調整がしやすくなりました。よいことなのかよくわかりませんが、全国各地のブースのある場所や使い勝手について非常に詳しくなることができました。

### 2 地域会員懇談会の構成と内容

地域会員懇談会の構成は多少の相違はあるものの、6名から8名くらいのグループに分かれての意見交換がメインとなります。意見交換の内容は、事前アンケートの回答で集まった「自社の悩みや他社に聞いてみたいこと」を議論するものです。

各地で議論したテーマは、AIも含めたリーガルテックの活用、契約審査、人材育成、部門内のナレッジの共有などであり、どの地域の会員の法務部門でも同じようなことで悩んでいるということがわかりました。また、戦略法務やサステナビリティなど、新しい法務機能についてのテーマや、カスタマーハラスメントやBCPなど、会社によっては他部門が所管しているような業務についての悩みを持っている会員の方もいました。

具体的には、リーガルテックの活用というテーマでは、どこの製品を利用しているか、費用はどれくらいか、使いやすい機能は何かとい

う話はもちろん、使いにくい点などについても、その場限りの話として聞くことができますし、生成 AI の活用事例も少しずつ共有し始めています。

法務部門のエンゲージメントサーベイのスコアが上がらないという悩みについて、スコアを上げるための裏技(?)を議論したこともありました。

そして、各社の事例の紹介の中では、普段なかなか聞くことのできない失敗事例を共有し合うことは非常に参考になります。

参加する会員は BtoC の企業も BtoB の企業もあって、業種もさまざまですし、法務部門の規模も、一人法務の会員から、数十人から数百人規模の会員もいます。また、参加者の法務経験も、新卒で法務部門に配属されたばかりの方や事業部門から法務部門に異動してきた方もいますし、法務一筋で数十年の大ベテランの方まで、役職もバラバラな方が参加しています。それでも、法務がホームの仲間として、さまざまな悩みや愚痴を共有していると、毎回、意見交換の時間が足りなくなるほどです。

### 3 地域会員懇談会の広がり

そして、地域会員懇談会の本番は、懇談会の後に行われる全国各地の美味しいお酒を飲むことのできる懇親会であることはいうまでもありません。

懇親会では、懇談会で話した事例をより深く話すことはもちろん、懇談会ではいえなかったことでもアルコールの勢いを借りて共有できる素晴らしい機会となっています。さらに盛り上がって2次会や3次会と続いていく懇親会もあるとかないとか……。懇談会や懇親会で親密になった方とは、その後に個別に連絡をとることで会員企業の法務部門間での意見交換会の開催へと広がっていくという事例も多くみられると聞いています。

参加者の人数は10名から20名程度の場合が多いのですが、九州地区会員懇談会(第2回)で

は50名の方が参加し、事務局が懇親会の会場を探すのが非常に難しくなっているといううれしい悩みも発生しているようです。

とはいえ、全国各地に法務部門を有する会員の数に比べればまだまだ拡大の余地があると思いますし、すでに経営法友会の会員であっても地域会員懇談会に参加してもらえていない会員もあります。

地域会員懇談会だけではなく、他の経営法友会の活動が、会員の法務部門のみなさまにとって有益であることを実感してもらうための地道な活動として、引き続き全国各地に足を運びたいと考えています。

まだ参加したことがない会員のみなさまにおかれましては、ぜひとも、地域会員懇談会に参加してください!!

#### 2024年度地域会員懇談会 開催実績

- 2024年7月5日(金)  
東海地区会員懇談会(名古屋開催)  
23社34名参加
- 2024年7月26日(金)  
九州地区会員懇談会(第1回)(都城開催)  
16社33名参加
- 2024年10月25日(金)  
北海道会員懇談会  
11社20名参加
- 2024年11月22日(金)  
京都会員懇談会  
12社14名参加
- 2025年1月20日(月)  
神戸会員懇談会  
14社16名参加
- 2025年2月7日(金)  
九州地区会員懇談会(第2回)(福岡開催)  
26社50名参加
- 2025年3月14日(金)  
広島会員懇談会  
14社22名参加